

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

花めぐり

パンジーとビオラ

花壇などで見かけることの多いパンジーとビオラ。見分け方は非常にあいまいですが、豪華で大きい花を咲かせるのがパンジー、小さく可愛らしい花を咲かせるのがビオラです。最も美しく咲く季節は春ですが、可憐な中に華やかさを秘めた見た目が、花の少ない冬場の寂しい花壇に彩りを与えてくれます。



原産地は北ヨーロッパ。初冬から初夏まで咲き、花つきが良いのが特徴です。丈夫で育てやすく、花色も豊富なので配色も自在に楽しむことができます。水はけのよい用土であれば、土質は選びません。植えつけ時に牛糞堆肥を加えておくと、根の張りがよくなります。種ができたら花ガラを摘むことがコツです。間延びした茎を切り戻すと元気になり、長い期間、人々の目を楽しませてくれます。

パンジーの花言葉は色により異なりますが、全般には「もの思い」「私を見て」。ビオラは「誠実」「信頼」などです。

(広報委員 山内静子)

大晦日、21時半頃、石井規之総代会長を始め総代の面々が参集。神社の半纏を着込む。境内一角に積まれたお焚き上げの品々を、神楽殿前の広場に移動し焼納する儀式、焼納祭が始まる。四方にしめ縄を巡らせた柱を立て、そこに宮武宮司がお神酒で清め、祝詞奏上、お祓いをし、燃やし始める。赤々と燃え上がる火炎は、人々の無病息災を守護した神々が、役を終え天に昇ってゆくようである。

23時、除夜祭。本殿に上る。宮司が奏上する祝詞がしじまの中に一段と厳肅に聞こえる。宮司より総代たちが一人ずつ玉串を頂き、大神さまに奉奠し二礼二拍手一礼を以って今年1年を感謝し良き年の招来を祈念する。この儀式が約30分続く。

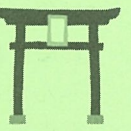
23時半頃から参拝者が並び始めた。お年寄りのご夫婦、若いカップル、家族連れ：地元の氏子である皆さんが三三五五集まってきた。境内の列が段々長くなり、門から外へはみ出し、囲いの石柱越しに曲がり、すぐ100m位に延びてゆく。

そして24時。午前0時ジャスト。本殿から太鼓の音が「ドーン」と響いた。ゆく2015年、くる2016年のバトンタッチの一瞬だ。1ツ2ツ3ツ：108ツ約1時間続いた。参拝者たちが口々に「おめでとうございませう」と声を発す。甘酒係(今年は小山3丁目の三澤町会長始め皆さん)が行列の参拝者に温かい甘酒を振る舞ってくれた。小山5丁目五友会の神輿が入ってきた。ライトアップされ金色に輝く神輿をおよそ100名の担ぎ手が威勢よく、新年を寿いでくれた。

あるお年寄りが、お孫さんに「初詣でに連れて良かったね。今年も良い年でありますよう神様にお願ひしようね」と話していた。

地元神社への初詣で。日本人の伝統がここ、三谷八幡神社にも息づいていた。

(荏原4丁目町会 大高一浩)



ゆく年くる年 「三谷八幡神社」 風情



街角ウォッチング

足下には何がある？

突然ですが、この左下のマークを見た事がありますか？

よく見る桜の模様



これは、マンホール(四角い形もありますが)のふたに描かれた模様です。



可愛いベーターベンの模様

中でも、この右の写真の亀のマークが可愛くて心ひかれたので、調べてみました。これは、消火の為の貯水槽が埋設されているという印で、描かれた亀は品川区防災課のイメージキャラクター「ベーターベン」という名前だそうです。

他にも珍しいマンホールのふたを見つけたら、散歩も楽しくなりますね。

地下には、実にたくさんの設備が埋まっています。電気、ガス、上下水道、電話、そして地下鉄など大事なライフラインです。皆に踏まれても黙々と仕事をこなし、私達の生活を支え、守ってくれています。

今後も足下を見る事は多くなりそうですが、視点を変えて上を見上げるのもいいかな。

(広報委員 木村美智代)

設置していますか？

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知して火災を音声や警報音などで知らせる機器で、早期発見に大変有効です。すべての住宅の居室(居間、リビング、子供部屋、寝室など)、台所、階段への設置が火災予防条例により義務付けられています。まだ設置されていないご家庭では一刻も早く設置するようお願いいたします。(※自動火災報知設備やスプリンクラー設備が設置されているマンション等は不要)

昨年暮れから荏原消防署管内において死者が発生する住宅火災が続きました。一方、住宅用火災警報器の設置により効果があった事例も寄せられています。

住宅用火災警報器を設置して、火災の早期発見に努めましょう。

『効果があった事例』

男性(70代)は居室内のベッドで就寝中に、住宅用火災警報器の鳴動音で目を覚まし、ベッド脇の床に置いてある電気

ストーブに掛布団が接触して、火が出ているのを発見した。その後、掛布団にバケツで2〜3回、さらに風呂桶で2〜3回水を掛けて消火した。

また、既設置のご家庭においても、電池が切れていたり、故障していたりする日頃からお手入れをして、定期的に作動を確認しましょう。

【お手入れ】
警報器にホコリがつくと、火災を感知しにくくなるので、乾いた布等でふき取りましょう。

【作動確認】
正常に作動するか、定期的にテストしましょう。テストはボタンを押すか、ひもがついているタイプは、ひもを引いてください。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

【電池切れ】

電池切れの時には音声でお知らせするか、「ピッ：ピッ：」と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池に交換してください。また、警報器本体の寿命は10年が目安です。

(荏原消防署小山出張所)

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、3月22日(火)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています